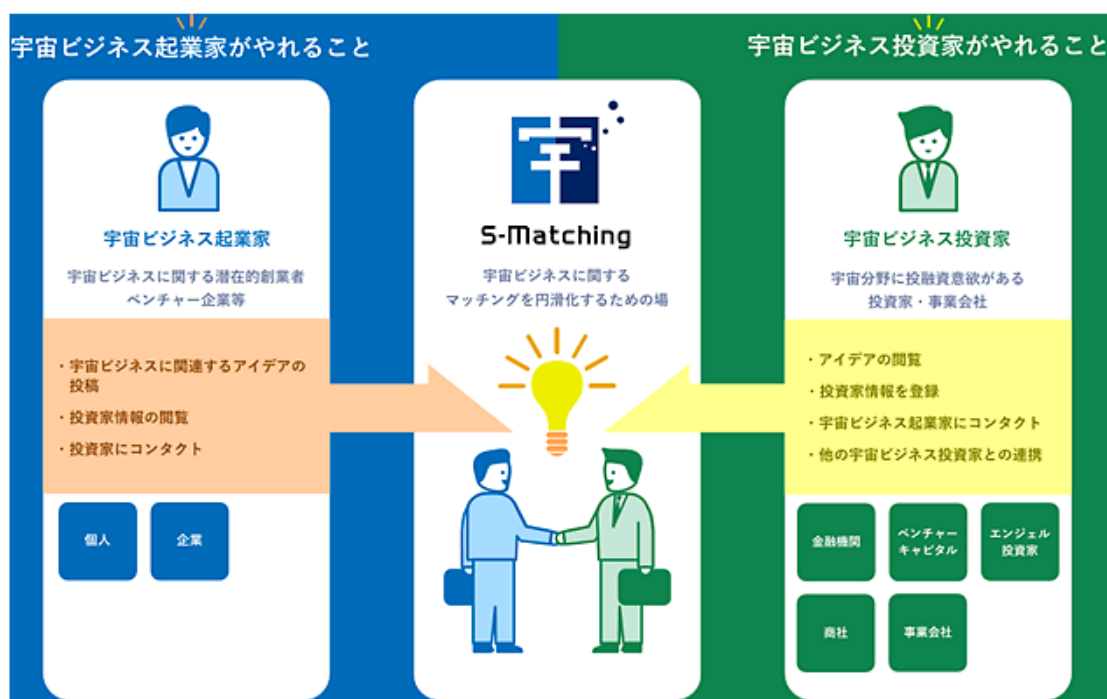


「宇宙ビジネス出会い系サイト開設 NEDO が起業家と投資家のマッチング支援」

立ち後れが目立つ日本の宇宙ビジネスを拡大、発展させるため、起業家と投資家の橋渡しをするプラットフォームが5月31日、創設された。創設者の国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構は、「これまで埋もれていた技術シーズと投資家とのマッチング機会を提供することで、宇宙ビジネスの創出と、宇宙産業競争力の底上げに貢献したい」と意気込んでいる。

この「宇宙ビジネス投資マッチング・プラットフォーム (S-Matching)」は、専用のウェブサイトを立ち上げ、開設当日から、宇宙ビジネス起業家からのビジネス・アイデアの募集と、宇宙ビジネス投資家の S-Matching への入会申請の受け付けを開始した。ビジネス・アイデアを投稿する宇宙ビジネス起業家は、ベンチャー企業に限らず、個人、チームでも応募できる。ビジネス・アイデアについては、今後10年以内の事業化を想定しているフェーズから、既に事業化しているフェーズのアイデアまで、開発フェーズによらない投稿が可能だ。

宇宙ビジネス投資家は、投稿された多様なビジネス・アイデア内容を専用サイト上で閲覧できる。専用サイトを通じて、宇宙ビジネス投資家と宇宙ビジネス起業家が直接コンタクトすることもでき、効率的かつスピーディーなマッチングが可能だ。宇宙ビジネス起業家、宇宙ビジネス投資家ともサイト上での登録申請が必要で、投稿されたビジネス・アイデアを閲覧できるのは登録した宇宙ビジネス投資家だけとなっている。



S-Matching のコンセプト (NEDO プレスリリースから)

世界を眺めると、宇宙技術と情報技術(IT)を結びつけ多数の新規ビジネスが花開きつつあるのが現状。日本はすっかり立ち後れているという危機感から昨年 5 月、現在、年間 1 兆 2,000 億円にとどまる宇宙産業全体の市場規模を 2030 年代早期に倍増するという目標を掲げた「宇宙産業ビジョン 2030」を内閣府宇宙政策委員会が公表している。さらに今年 3 月には、今後 5 年間で官民合わせて約 1,000 億円のリスクマネーの供給を可能にすることなどを盛り込んだ「宇宙ベンチャー育成のための新たな支援パッケージ」を政府が発表した。

また 5 月には、日本の航空宇宙開発政策を担う研究開発機関である国立研究開発機構宇宙航空研究開発機構(JAXA)が、宇宙技術活用の意欲を持つ企業や起業家、大学などとともに新たな事業の共創を目指す研究開発プログラム「宇宙イノベーションパートナーシップ (J-SPARC)」を創設した。

NEDO の新しいプラットフォーム「S-Matching」は、政府の「宇宙ベンチャー育成のための新たな支援パッケージ」の一環として内閣府、経済産業省が創設に加わっている。S-Matching は JAXA とも連携し、ビジネス・アイデアに対する技術的なアドバイスなどを行うとともに、J-SPARC を通じた共同技術開発・実証などの取り組みも支援する。

小岩井忠道 (客観日本編集部)

関連サイト

NEDO プレスリリース「宇宙ビジネス投資マッチング・プラットフォーム (S-Matching) を創設」

http://www.nedo.go.jp/news/press/AA5_100965.html

関連記事

2018 年 05 月 23 日 「JAXA 呼吁民間合作, 共同开创太空业务」

http://www.keguanjp.com/kgjp_keji/kgjp_kj_sea/pt20180523093456.html

2018 年 05 月 14 日 「日本亟需培养人才促进太空产业商业化」

http://www.keguanjp.com/kgjp_jiaoyu/kgjp_jy_gdjy/pt20180514093500.html